

Musée Bernard Buffet



Buffet-Kun e-book vol.9

「ジュンくん」の人生も半ば…。月刊「ジュンくん」早くも9月号目です。

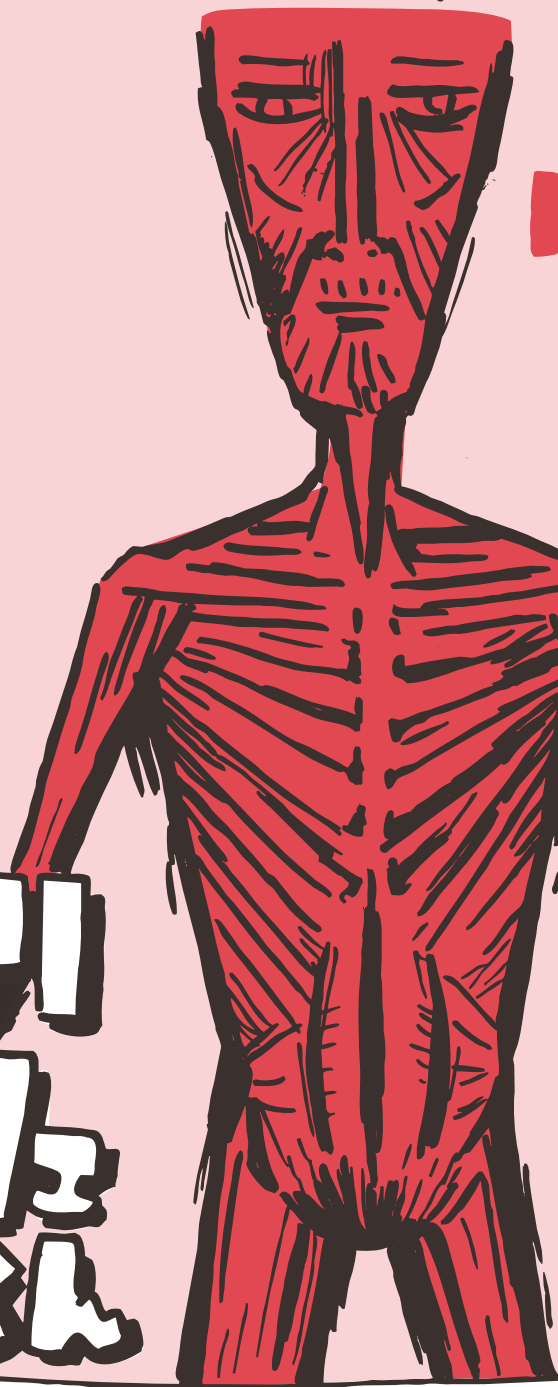
バルナー・ビュエをもっと好きになる月刊紙!!

第9号

1965-1969

西島大介

月刊
ジュンくん



僕に
一体
何が...!?



圧倒的なポピュラリティー（大衆的人気）を得、
名声を手にして富を築きながら、同時に
家族を愛す良き家庭人でもあるビュエ。
時に「ゴテス」で殺伐とした表現と、
その健やかな日常は、分裂的にも思えます…。

作品「皮を剥がれた人件」（1964年）より。「進撃の巨人」に似てる説あり…。

世界各地でアートが描かれ、抽象へと向かう中、具象絵画は衰退していきま

フランス北西部の三菱町
サン=カストに居をかまえ、
亡き母との思い出の土で
創作に打ち込むビュフェ。

やがてベトナム戦争が
始まり、アポロが月へ行く、
そんな時代にビュフェは...

(海よ...)
La Mer



(ラ・ガレ)
お屋敷にこもり
絵を描く生活。



「服を脱いだ女たち」シリーズ(1965)。

よし、
できたっ!

齊木らぬビュフェに、

批判の声を
多くありました。



戦後というフランスの、いやヨーロッパ全体の
共通意識を鋭く具現化して、デビューした
ベルナール・ビュフェ。

(しかし60年代、時代は大きく変化。



(逆にビュフェは一貫して変わってないとも言えます)

世の変化に気付かないタイプ。

良くも悪くも人間は悲しみや惨禍を忘れるもの……。忘れないのは芸術家の仕事!?

人々の記憶から「戦争」が遠ざかり、ビュフェ作品の本質・原点が見えにくくなる中、しかし作品は日々制作され人気を得て、ビュフェ自身は億万長者。この構造こそが、
強い批判を生んだ
理由だと
思われます。

そんな
〜!!



僕の
せい!?

ほら
ない
よ〜 (泣)



あらまあ
ビュフェくん

ア+ベル
後にはいなく...

「彼の作品はたまたま非難されました。
そのような時 ベルナールは、
悪評によって圧力を受け、奮起することもあるのだと 静かに語ってくれました」

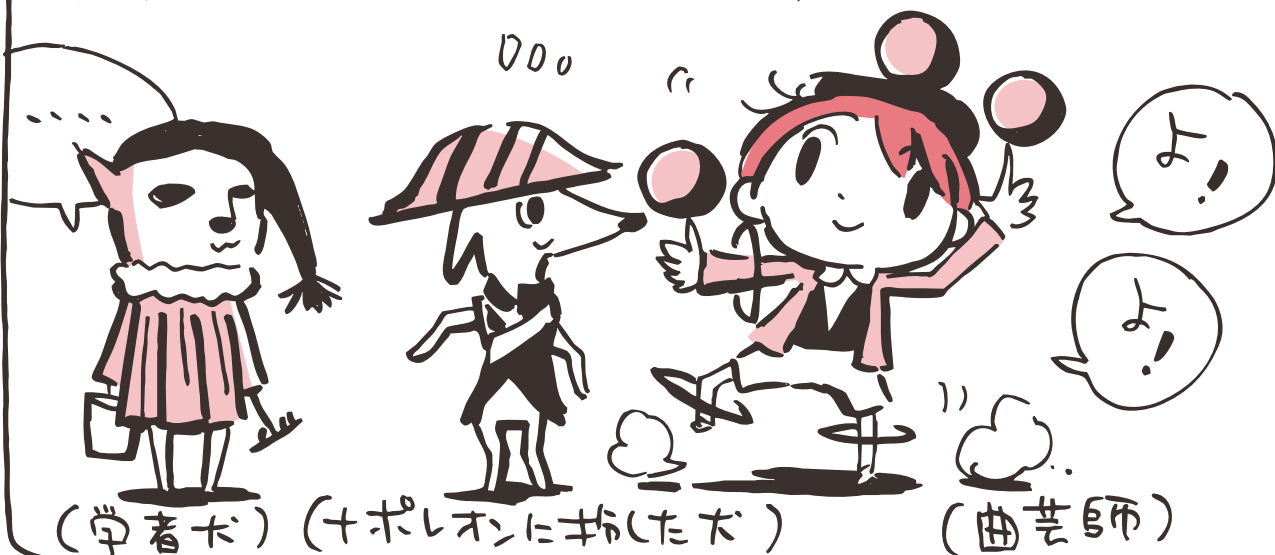
自分の皮を
剥ぎたい夜も
あったかも
しれません。



あと「虫」や「鳥」など、毎小生を感じさせる「生物」シリーズも。



一方、1968年には自らの子どもたちのために挿絵本「わたしのサーカス」を出版。カラフルでユーモラスな内容でした。



身を裂き
ぬり狂う
ビュフェと...



子どもを
楽しませる
ビュフェ。

どちらのビュフェが本当なのか？ どちらもか？
批評的な結論を下すには、ビュフェは
あまりにも多作で、多様なのでした。



ビュフェの絵柄は明快ですが、そう考えると難解な作家です。

初期のムードに戻ったような作品（例えば「内省」(1969)）もあり、

La Mer (ラ・メー)

「海」についての個展はありませんが
ベルナール・ジュゼの作品の中には
生涯にわたって「海」がモチーフとして
登場します。

「海」でたどるジュゼの作品、スタート!!

ジュゼが
画いた毎に
描かれたのは
暗く、荒々しい
ブルーニエの
海でした



まだ画風を
確立する前



ルーヴルで
学んだ
写実主義の
影響大だわ

夏だ、海だ、
ジュゼくん
だっ!

1 「シ皮」(1946)

まだデビュー前、
18歳で夏に描いた
暗く荒々しい海は
母の思い出の地 サンカスト?

2 「バレーボール」(1956)

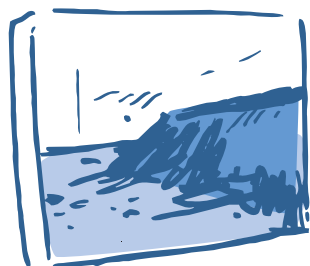
浜辺でスポーツに興じる
男たちを描いた作品。
アヤベリの結婚前なので、
ベルジェで遊ばに行った海かも?



ポロ



よーし
脱い
じゃえ



3 「断崖」(1964)



「シ皮」同様、
ブルーニエの海を
描いた作品。色彩を帯びながらも
共通した荒々しさがあります。ちなみに
サンカストに購入した館ラ・ガレで制作。

アッ...

ブレイクしても
原風景を
忘れない...

気がつく
海描いてるわ



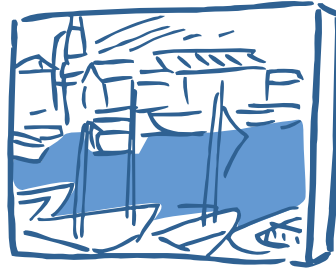
4 「シ皮」(1964)

9 「ブルA-ニ2の嵐」
(1999)



どっちも
南仏のミ海。
リゾート地で
ムネとミで
言うなら陽。

8 「カランのミ海」
(1993)



ア+バ+に出会った
南仏のミ海を
描いた作品。

7 「サン・トロペのミ海」
(1993)

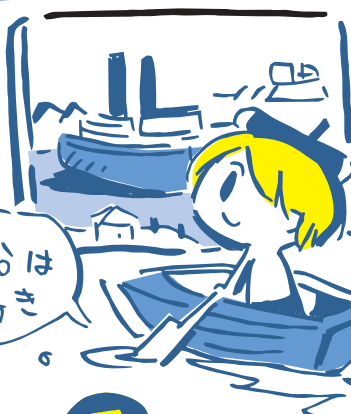
Musée Fernand Buffet

6 「ダンテ地獄篇
7部のミ海を3度見る」
(1976)



厳密には
ミ海だけじゃ
怖...

精密なプラモデルのように
巨大な船を描いた作品。



5 「サン・ナゼール」
(1972)

すさまじく
美しい
超大作です。

Summer
1946.
1999

はつか
いよ
ね~!



船は
好き

海
(6)

